

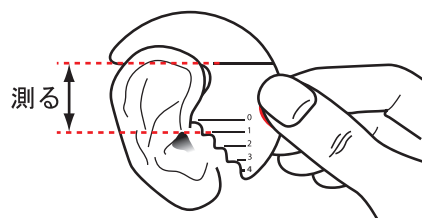
1. レシーバーの長さを決定する

<実際の補聴器で長さを合わせる>

Amaze 以前の RIC 補聴器を使用して確認いただく場合、ちょうど良かった長さのレシーバーの番号より **1つ小さい番号** でご注文ください。Imagine のレシーバーが以前のものより 1~2mm 長くなっている事、レシーバーワイヤーも、耳穴の中心に位置していたものが今回は**耳穴の上部**へ変更されたためです。

※ 試聴器のレシーバー：1番 ⇒ Imagine：0番 / 2番 ⇒ **1番** / 3番 ⇒ **2番** / 4番 ⇒ **3番**

<ゲージを使って長さを測定する>



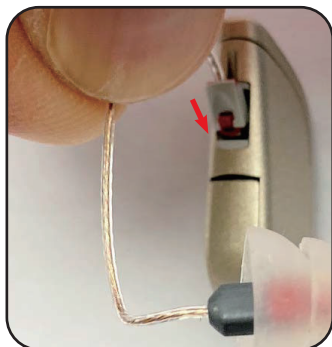
両面で赤⇒右耳・青⇒左耳で、色が見えるようにして測定します。番号が3番までのメジャーもありますが、番号の位置は同じです。

1. ゲージが耳に水平にかかっていることを確認します。
2. 目の高さをお客様の耳の高さに合わせ、耳あなの**上部**が何番にあたるかを確認します。

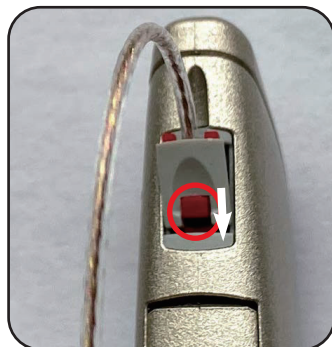
2. レシーバーの取付け・取り外し

レシーバーの長さが決まったら、本体に装着します。今までの補聴器と取り付け方が変わりましたので手順を確認してください。

<レシーバーの取付け>



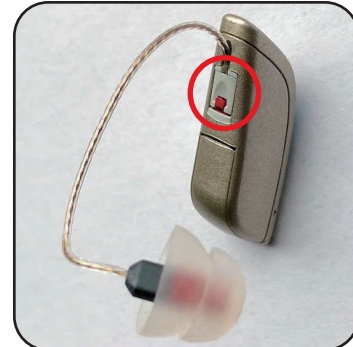
レシーバーを斜めに差し込みます。



右耳：赤・左耳：青のラッチ部分のロックを指(爪)で押し下げます。



ロック部分を下げたまま浮いている上部をはめ込んでください。

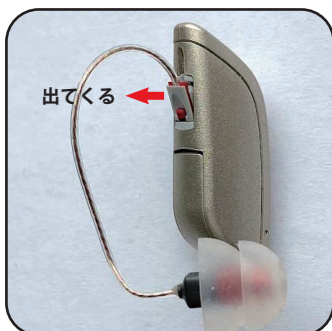


カチッと音がすれば取付け完成です。

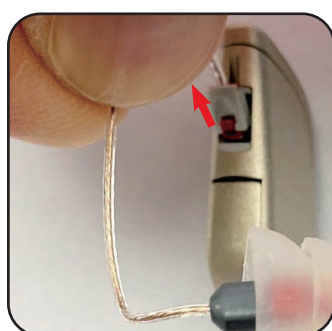
<レシーバーの取りはずし>



右耳：赤・左耳：青のラッチ部分のロックを押し下げます。



レシーバー上部が出て来ます。少しワイヤを引っ張っても OK です。



上部が外れたらワイヤを持って斜め上へ引き上げます。

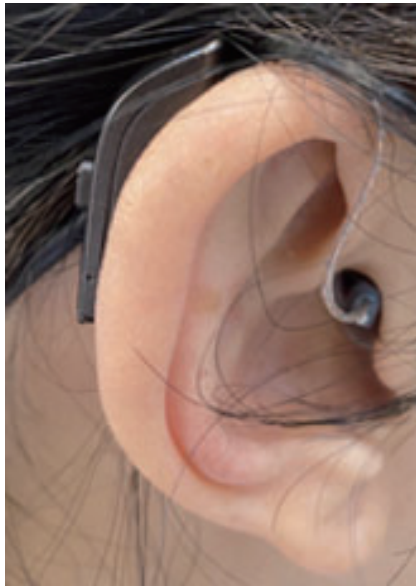


取り外しが完了しました。

Belton Imagine レシーバーについて

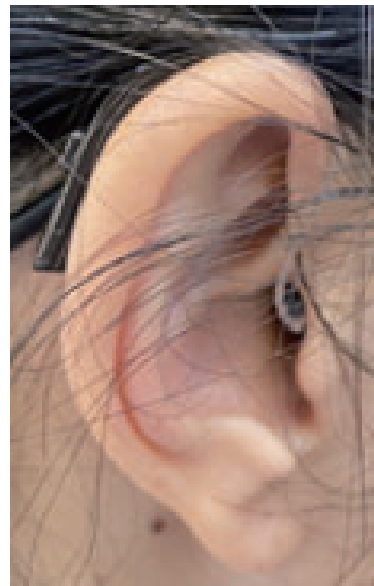
・装用状態

<悪い例>

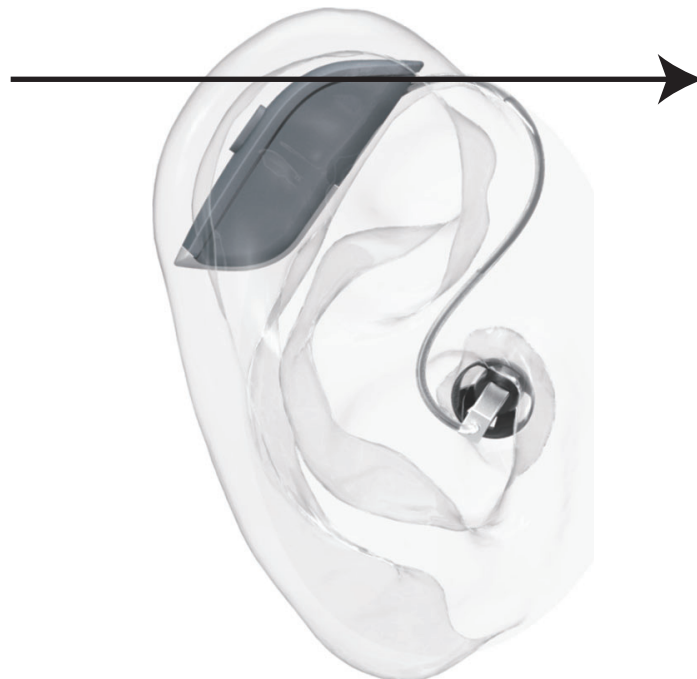


レシーバーが長すぎる例です。
ワイヤーが耳から離れ補聴器
本体も耳から浮いています。

<良い例>



適切な長さのレシーバー装着
例です。補聴器が耳に沿って
いて安定感があります。



補聴器が耳にかかった時に本体のマイク水平になることが理想です。
ただし、耳から外れないような装用が優先されます。